

AAINews

APPROPRIATE AGRICULTURE INTERNATIONAL CO., LTD.

国際耕種株式会社

TEL/FAX: 042-725-6250

〒194-0013 東京都町田市原町田 1-2-3 アーベイン平本 403

E-mail: aai@koushu.co.jp Home Page: http://www.koushu.co.jp

サブ・サハラアフリカ陸稲品種選定技術コース3年間の受け入れ研修員

JICA 筑波における「サブ・サハラアフリカ地域別陸稲品種選定技術コース」の研修指導業務を国際耕種は2006年から昨年までの3年間、3回にわたって担当した。当初予定された3年間の研修員受け入れは昨年をもって終了したが、サブ・サハラアフリカ地域における陸稲品種選定技術のニーズは依然として高いと感じている。昨年5月に開かれたアフリカ開発会議(TICAD IV)では、アフリカにおける稲作の振興が大きく取りあげられ、「アフリカ稲作振興のための共同体(Coalition for African Rice Development, CARD)イニシアティブ」が立ち上がるなど、アフリカにおける稲作の重要性が再認識されている状況から、今後も同様のコースを継続していくことがJICA 筑波でも検討されている。当初の予定期間が終了し、ひとつの区切りとなったので、過去3年間の研修員受け入れ実績を紹介する。

3年間3回の研修コースで合計12カ国、30人の研修員が本コースを修了している。最も受け入れ人数の多い国はタンザニアの6人で、次に多いのがジンバブエの4

人である。東アフリカ各国からの受け入れが多い反面、西アフリカは5カ国7名にとどまった。また、フランス語圏からの受け入れは、JICA 専門家のカウンターパートとして個別研修枠で受け入れたベニン以外はなかった。とくに、一年目(2006年)は「英語圏アフリカコース」として実施したこともあり、東部・南部アフリカの英語圏の受入が中心だった。

これらの研修員受け入れ国と昨年10月に開かれたCARD 第一回会合で選出された支援対象候補国を比較すると、第1グループからは英語圏各国をほぼ網羅的に受け入れているものの、カメルーンを含む仏語圏5カ国を受け入れていない。また、第2グループからはガンビア、ベナンを受け入れているが、他の7カ国は受け入れがなかった。今後、同様のコースを継続して実施する事になれば、これまで受け入れがなかった12カ国についても受け入れを検討する必要があるが、その場合はフランス語圏の研修員の受け入れについて考慮が必要となる。また、CARD 支援対象候補国にあげられていない国でも、これまで受け入れたエチオピア、マラウイ、ジンバブエなどのように、陸稲栽培のニーズが高く、熱心な研修員の多い国もある。そうした国からの受け入れも継続していくことは必要であろう。

また、これまでもAAI ニュースで述べてきているように、これから受け入れるべき研修員だけでなく、帰国した研修員の活動を支援していくことも重要な課題である。12カ国に散らばった帰国研修員は、これから活発化して行くであろうCARD 関連プロジェクトの中で活躍できる有用な人材と考えられ、最終年にあたる昨年、全研修員の研修成果などをまとめたリストを作成し、在外JICA 事務所などと情報を共有できるように取り組んだ。これからも帰国研修員に積極的に働きかけ、研修で習得した成果を発揮できるよう支援をしていきたい。

また、これまでもAAI ニュースで述べてきているように、これから受け入れるべき研修員だけでなく、帰国した研修員の活動を支援していくことも重要な課題である。12カ国に散らばった帰国研修員は、これから活発化して行くであろうCARD 関連プロジェクトの中で活躍できる有用な人材と考えられ、最終年にあたる昨年、全研修員の研修成果などをまとめたリストを作成し、在外JICA 事務所などと情報を共有できるように取り組んだ。これからも帰国研修員に積極的に働きかけ、研修で習得した成果を発揮できるよう支援をしていきたい。

(2009年2月 小島)

表1. サブ・サハラアフリカ地域別「陸稲品種選定技術」コースの研修員受け入れ実績(2006-2008)

受け入れ国	人数
ベナン	2
エチオピア	2
ガンビア	1
ガーナ	1
ナイジェリア	2
マラウイ	4
モザンビーク	2
ケニア	2
タンザニア	6
シエラレオネ	1
ウガンダ	3
ジンバブエ	4
合計	30

表2. 「アフリカ稲作振興のための共同体イニシアティブ(CARD)」支援対象候補国と「サブ・サハラアフリカ陸稲品種選定技術コース」の受け入れ国

*CARD支援対象候補国の内、研修受け入れ国を で囲った。

	西アフリカ	中部アフリカ	東アフリカ	南部アフリカ
CARD支援対象候補国	第1グループ ガーナ ギニア マリ ナイジェリア セネガル シエラレオネ	カメルーン	ケニア タンザニア ウガンダ	マダガスカル モザンビーク
	第2グループ ベナン ブルキナファソ コートジボワール ガンビア リベリア トーゴ	コンゴ民主共和国 中央アフリカ共和国 ルワンダ		
CARD支援対象国以外で、受け入れた国			エチオピア	マラウイ ジンバブエ